

## 授業の概要

第1学年で学んだ重要な役割を持っている顎口腔系の概念を知るとともに、顎口腔系の形態と機能を維持するための歯科技工の意義を理解する。また、下顎位の定義を理解することにより、下顎位の臨床的意義について修得する。

■教科書：最新歯科技工士教本 顎口腔機能学(医歯薬出版)

■授業時間：月曜日 18：00～18：45

■オフィスアワー：小峰 太 ([komine.futoshi@nihon-u.ac.jp](mailto:komine.futoshi@nihon-u.ac.jp)) 月曜日 17：00～17：45

市川 裕美 ([ichikawa.hiromi@nihon-u.ac.jp](mailto:ichikawa.hiromi@nihon-u.ac.jp)) 月曜日 17：00～17：45

■成績評価：前期は定期試験(40%)，平常試験(10%)，後期は定期試験(40%)，平常試験(10%)として総合評価とする。平常試験後に解説を行いフィードバックする。

■注意事項：講義時に教科書と配付プリントを持参すること。

■授業方法：教科書に沿った内容のスライドとプリントを使用して講義を行う。第15回時に平常試験と解説を実施する。

■準備学習：事前に講義内容を教科書で確認しておくこと。平常試験を実施するので復習すること。

■準備学習時間：予習と復習それぞれに講義時間と同等の時間を充てること。

■実務経験：小峰 太：現在、日本大学歯学部歯科補綴学第Ⅲ講座に在籍しており、顎口腔系の機能と調和した補綴装置を製作する意義について、歯科医師の立場から説明することで、理解の向上に繋がると考える。  
市川 裕美：歯科技工士としての臨床経験をもとに、本教科で学ぶ内容や理論、手技を補綴装置の製作にどう生かせるかを歯科技工士の立場から、わかりやすく丁寧に教えていく。

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
第1回4月1日 市川 裕美	1. 歯の接触様式 歯の形態と機能(1)	・ 歯の形態と機能を説明できる。
第2回4月8日 市川 裕美	1. 歯の接触様式 歯の形態と機能(2)	・ 歯の形態と機能を説明できる
第3回4月15日 市川 裕美	1. 歯の接触様式 歯の形態と機能(3)	・ 歯の形態と機能を説明できる
第4回4月22日 市川 裕美	1. 歯の接触様式 歯の形態と機能(4)	・ 歯の形態と機能を説明できる
第5回5月13日 市川 裕美	1. 歯の接触様式 歯の形態と機能(5)	・ 歯の形態と機能を説明できる

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
第6回5月20日 市川 裕美	1. 歯の接触様式 歯の形態と機能(6)	・ 歯の形態と機能を説明できる
第7回5月27日 小峰 太	2. 顎口腔系の形態	・ 顎口腔系の概念を説明できる。 ・ 顎口腔系の構成要素を列挙できる。 ・ 各構成要素の形態的特徴と機能を関連づけられる。
第8回6月3日 小峰 太	2. 顎口腔系の形態	・ 顎口腔系の概念を説明できる。 ・ 顎口腔系の構成要素を列挙できる。 ・ 各構成要素の形態的特徴と機能を関連づけられる
第9回6月10日 小峰 太	2. 顎口腔系の形態	・ 顎口腔系の概念を説明できる。 ・ 顎口腔系の構成要素を列挙できる。 ・ 各構成要素の形態的特徴と機能を関連づけられる
第10回6月17日 小峰 太	2. 顎口腔系の機能	・ 下顎運動の分析に関する基準点(面)を説明できる。
第11回6月24日 小峰 太	2. 顎口腔系の機能	・ 下顎運動の分析に関する基準点(面)を説明できる。 ・ 咬合に関する平面を説明できる。
第12回7月1日 小峰 太	3. 下顎位	・ 各下顎位の定義を説明できる。 ・ 各下顎位の臨床的意義を説明できる。
第13回7月8日 小峰 太	4. まとめ  平常試験・解説	・ 第1回から第12回までの講義内容について理解度を確認する。 ・ 理解度の低い箇所について知識を深めることができる。
第14回7月22日 市川 裕美	1. 歯の接触様式 歯の形態と機能(7)	・ 歯の形態と機能を説明できる。
第15回7月29日 市川 裕美	1. 歯の接触様式 歯の形態と機能(8)	・ 歯の形態と機能を説明できる。